

2002年(平成14年)

のこぎり屋根シンポジウム開く

織都桐生特有の産業風景を形成し、市内に200棟以上あるとされるノコギリ屋根工場にスポットを当て、保存・継承していくためのシンポジウム「のこぎり屋根のあるまち・桐生からの発信」を開催。京都西陣の町家、東京向島の長屋と木造建築物を活用している方々をパネリストとして招き、新たな活用法や今後の展望などを探りました。このシンポジウム以後、ノコギリ屋根工場の保存活用は協議会の大きなテーマになっていきます。

委員会プロジェクト事業も活発に動き、食文化創造プロジェクトは桐生新町時代の領主に振舞った16年前のもてなし料理の復元に挑戦、産地とデザイナープロジェクトは有鄰館で紗綾コレクションを発表、吉田初三郎「桐生市鳥瞰図」の展示、桐生天満宮に水車の復元などサポート事業も多彩になりました。トラス型の錦桜橋解体に伴い「感謝の夕べ」も開催し、500人の市民が別れを惜しみました。まちづくり委員会は群馬県からまちづくり功労表彰を受賞、ファッションタウンのまちづくりは地域づくり総務大臣表彰に選ばれました。



京都西陣、東京向島からのゲストを招き開催したのこぎり屋根シンポジウム



江戸時代の領主もてなし料理の復元



有鄰館で紗綾コレクションの発表会



吉田初三郎の鳥瞰図展示と天満宮境内の水車復元



多彩な運動を展開



錦桜橋感謝の夕べで、橋の最後の掃除をする市民の方々

活力あるまちづくりで総務大臣表彰